



MARUZEN CHI  
Holdings

# 平成25年1月期 第2四半期決算発表 ご説明資料

(当社第3期第2四半期 平成24年2月1日～平成24年7月31日)

平成24年9月14日

丸善CHIホールディングス株式会社

説明者:代表取締役社長 小城 武彦



# 1. 当社の体制図

## 丸善CHIホールディングス株式会社

丸善(株)

(株)図書館流通センター

丸善書店(株)

(株)ジュンク堂書店

(株)hontoブックサービス

(株)雄松堂書店

丸善出版(株)

国内最大の書籍コンテンツ販売グループ



## 2. 当第2四半期業績サマリー(連結)

- 各事業セグメントそれぞれおおむね計画通り進捗し、期初予想から11億円の増収。
- 増収による増益効果及び各社における経費削減により営業利益は期初予想比4億円増。
- 加えて円高、低金利等の継続により営業外収支がやや好転し、経常利益は同5.2億円増。
- 店舗移転に伴う受取補償金等の特別利益計上もあり、純利益は期初予想から9.5億円増。

(※本年9月12日業績予想修正開示済み)

◆平成24年2月1日～平成24年7月31日

(単位：百万円)

| 【平成25年1月期】<br>第2四半期(累計) | 売上高    | 営業利益   | 経常利益   | 第2四半期<br>純利益 |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------------|
| 当初業績予想値<br>(3月16日発表)    | 91,000 | 770    | 690    | 20           |
| 修正業績予想値<br>(9月12日発表)    | 92,100 | 1,100  | 1,200  | 970          |
| 実績(本日発表)                | 92,108 | 1,168  | 1,206  | 971          |
| 対当初業績予想 増減              | 1,108  | 398    | 516    | 951          |
| 対当初業績予想 比率              | 101.2% | 151.7% | 174.8% | 4855%        |



### 3. 当第2四半期の損益ハイライト(連結)

◆平成24年2月1日～平成24年7月31日

(単位：百万円)

| 連 結        | 売 上 高  |        |        | 営 業 利 益 |        |        |
|------------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|
|            | 当 期    | 前 期    | 対 前 比  | 当 期     | 前 期    | 対 前 比  |
| 文教市場販売事業   | 37,216 | 37,951 | 98.1%  | 1,806   | 1,263  | 143.0% |
| 店舗・ネット販売事業 | 40,464 | 41,904 | 96.6%  | △193    | △122   | —      |
| 図書館サポート事業  | 7,602  | 6,833  | 111.3% | 434     | 405    | 107.1% |
| 出版事業       | 2,655  | 2,393  | 110.9% | 232     | 297    | 78.2%  |
| その他事業      | 4,168  | 2,627  | 158.6% | 190     | 296    | 64.4%  |
| 消去又は全社     | —      | —      | —      | △1,302  | △1,528 | —      |
| 合 計        | 92,108 | 91,711 | 100.4% | 1,168   | 611    | 191.1% |



## 4. 主要事業 ①文教市場販売事業

(単位：百万円)

| 第2四半期<br>〔累計〕 | 当期     | 前期     | 対前期          |
|---------------|--------|--------|--------------|
| 売上高           | 37,216 | 37,951 | △735 (98.1%) |
| 営業利益          | 1,806  | 1,263  | 543 (143.0%) |

- 大学市場では、研究者向けオリジナル商品(雄松堂)および設備関連事業では前年を上回ったが、新刊書籍販売で苦戦が続いた。
- また、公共図書館向け書籍販売(TRC)では、前年度の交付金が当期は終了したことに伴い、若干の減収となった。
- これらにより、売上は735百万円の減収となったものの、前年実施の希望退職(丸善)等による経費削減効果が寄与し、営業利益は543百万円の大幅増益となった。

- 学術研究や教育向けの、洋書や電子書籍を含む各種出版物、情報資料の提供
- 研究者支援ソリューションの提供
- 図書館用書籍の販売、書誌データベース(TRC MARC)の作成・販売、図書装備等の提供
- 教育・研究施設、図書館などの設計・施工、大学経営コンサルティングなど各種ソリューションの提供
- 大学内売店の運営、教科書販売



## 4. 主要事業 ②店舗・ネット販売事業

(単位：百万円)

| 第2四半期<br>〔累計〕 | 当期     | 前期     | 対前期            |
|---------------|--------|--------|----------------|
| 売上高           | 40,464 | 41,904 | △1,440 (96.6%) |
| 営業利益          | △193   | △122   | △71 ( --- )    |

- 引き続き書店市場全体が厳しい状況に加え、新宿店など退店影響もあり、新店出店効果で補ったものの、約14億円の減収となった。
- 書店を運営するジュンク堂、丸善書店の本部業務を一体化するなど、効率化に努めたものの、減収分をカバーできず当期間では減益となった。
- ハイブリッド型総合書店「honto」のポイントサービスを主要店舗で開始し、顧客の囲い込みを図ると共に、今後はFC型の提携出店を中心とした市場シェアの拡大を図る。

- 全国に「MARUZEN」「JUNKUDO」及び 「MARUZEN & JUNKUDO」の3ブランドによる店舗網で、和書、洋書、文具・雑貨等の販売
- ハイブリッド型総合書店「honto」とのサービス連携
- hontoブックサービスによる、オンライン書店の企画開発



## 4. 主要事業 ③図書館サポート事業

(単位：百万円)

| 第2四半期<br>〔累計〕 | 当期           | 前期    | 対前期          |
|---------------|--------------|-------|--------------|
| 売上高           | <u>7,602</u> | 6,833 | 769 (111.3%) |
| 営業利益          | <u>434</u>   | 405   | 29 (107.1%)  |

- 図書館受託館数は順調に増加し、増収増益を確保
- 前年同期比で大学図書館等で18館増、公共図書館等で58館増となり、期末受託館数は合計744館(前年同期末は668館、対前76館増)となった。
- 公共・大学ともに、より良い利用環境や読書体験のためのサービス向上に取り組み、引き続き受託館の拡大を図っていく。

- 公共図書館、大学図書館の業務(カウンター業務、目録作成、蔵書点検等)の請負
- 指定管理者制度による図書館の運営業務
- PFIによる図書館運営業務及び人材派遣



## 4. 主要事業 ④出版事業

(単位：百万円)

| 第2四半期<br>〔累計〕 | 当期    | 前期    | 対前期          |
|---------------|-------|-------|--------------|
| 売上高           | 2,655 | 2,393 | 262 (110.9%) |
| 営業利益          | 232   | 297   | △65 (78.2%)  |

- 児童書では『ルルとララシリーズ』、専門書では『フランス文化辞典』や土木建築関連の大型タイトルを刊行したことにより、合計149点(前期137点)の新刊を刊行。とくに専門書(丸善出版)は好調に推移し、約2.6億円の増収となった。
- しかし、一般書の既刊本売上が前年を下回ったことから、これらの商品評価の見直しを行ったため、営業利益では減益となった。

### ＜丸善出版(株)の出版事業＞

『理科年表』等の理工系分野中心の専門書、事典、便覧等の刊行。及びビデオ・DVDの発売。

### ＜(株)図書館流通センター子会社 岩崎書店＞

絵本・童話などの児童書、図書館向けの書籍の刊行。





## 4. 主要事業 ⑤その他事業

(単位；百万円)

| 第2四半期<br>〔累計〕 | 当期    | 前期    | 対前期            |
|---------------|-------|-------|----------------|
| 売上高           | 4,168 | 2,627 | 1,541 (158.6%) |
| 営業利益          | 190   | 296   | △106 (64.4%)   |

- 当期からグローバルソリューションサービス(株)が加わったことにより大幅な増収となった。
- また、店舗内装事業では保育所の新設案件などで新規顧客を獲得し増収となったものの、一部事業で前期特需があったことや、および交付金終了にともなう図書装備・出荷業務関連の売上減少から、営業利益は約1億円の減益となった。

- 書店、その他小売店舗向けに、企画・設計デザイン、建設工事、内装工事、店舗什器、看板、ディスプレイ等のトータルプランニング
- PC、スマートフォンの修理を行うグローバルソリューションサービス(株)が当期から加入
- その他



## 5. 通期予想

当第2四半期累計業績はコスト削減効果を主因として増収増益となったが、通期業績予想については、

- これまで堅調に利益貢献してきた、公共図書館向け事業で、交付金終了の影響が当初見込より大きい。
- 書店事業においては、引き続き市場全体が厳しい状況であり、当初計画の遂行が予断を許さない状況である。
- 大学向け事業では、コスト削減の効果はあったものの、少子化や大学予算配分の変化など市場環境でリスクがある。

ことなどを勘案し、**期初発表数値の変更をいたしておりません。**

(単位：百万円)

| 【平成25年1月期通期】           | 売上高                     | 営業利益  | 経常利益  | 当期純利益 |
|------------------------|-------------------------|-------|-------|-------|
| 当初業績予想値<br>(本年3月14日発表) | 178,000                 | 1,650 | 1,450 | 270   |
| <b>業績予想<br/>(本日時点)</b> | <b>上記の期初予想値から変更しない。</b> |       |       |       |



## 6. 当第2四半期のトピックス

- 5月：(株)図書館流通センター運営のオンライン書店「ビーケーワン」と(株)トゥ・ディファクト運営のオンライン書店「honto」のサービスを統合し、ハイブリッド型総合書店「honto」として新サービスを開始。
- 6月：ハイブリッド型総合書店「honto」とリアル書店ネットワークが融合するサービスのひとつとして、共通ポイントを導入。hontoポイントカードに会員登録することで、「honto」サイト及びリアル店舗でのお買い上げ時にポイントが付与され、ポイントは相互利用が可能。サービス連携の対象店舗は順次拡大予定。(本日現在27店舗)

### ★出店店舗

- |          |          |    |                |
|----------|----------|----|----------------|
| ●MARUZEN | ： 新潟(文具) | 3月 | 110坪           |
|          | 名古屋栄店    | 9月 | 800坪(移転オープン予定) |
| ●JUNKUDO | ： 弘前中三店  | 5月 | 800坪           |

(退店 2月：溜池山王店・柏高島屋店・名古屋ラシック店・盛岡川徳店、3月：新宿店、  
6月：名古屋栄店)